

第6回定例年次総会
2020年度（令和2年度）

議案書

日 時：2020年 6月30日（火）

18：00～19：00（予定）

会 場：各会員事業所等（「Zoom」を使ったテレビ会議方式）

一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会

一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会 第6回総会次第

1. 開 会

2. 議 長 選 出

3. 議事録署名人選出

4. 資格審査報告

5. 議 事

第1号議案 2019年度（令和元年度）事業報告について

第2号議案 2019年度（令和元年度）決算報告について

第3号議案 2019年度監査報告について

第4号議案 2020年度（令和2年度）事業計画について

第5号議案 2020年度（令和2年度）予算について

6. 議 長 退 任

7. 閉 会

2019年(令和元年)度 (一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会 事業報告書

1 事業実施概要

2019年度は、本会設立8年目(法人化後6年目)となり、年度末(2020年3月末)で正会員82社・人(前年比-4社・人)、所属住宅176件(前年比-23件)、賛助会員29社・人(前年比-6社・人)の合計111社・人(前年比-10社・人)で、合計会員数では前年度末比9%減と、2019年度末(11%減)、2018年度末(11%減)、2017年度末昨年(8%減)と4年続いての減となりました。

事業としては、定期的な勉強会の開催や市民セミナー開催を継続しました。

研修事業としては昨年同様、「高齢者向け住宅相談員養成研修」、「高齢者向け住宅事業者・管理者研修」と「高齢者向け住宅等虐待防止研修」の3本を開催予定でしたが「相談員養成研修」、「事業者・管理者研修」については最小開催人数の応募がなく、開催を断念しました。

また、ホームページで定期的に情報発信することなどにより、一般市民への高齢者向け住宅ならびに本会の周知に取り組みました。

2 事業活動

1) 事業者勉強会、事業者・市民セミナーの定期開催

(1) 事業者勉強会

・高齢者向け住宅の質の向上を図るため、事業者勉強会を定期的に開催しました。前年度同様、企画広報委員会の企画により6回の事業者勉強会を開催しました。また、開催時間(18時～20時)と会場(NPO法人シーズネット研修室)も前年度と同じです。

- ・第1回 5月29日(木) NPO法人シーズネット研修室 参加者数：7名
「高齢者向け住まいの災害対策～胆振東部地震の経験を生かす～」
講師・コーディネーター：西原 桂子氏(NPO法人シーズネット 理事)
報告者1：菱 みちる氏(社会福祉法人 ろく舎 専務理事・事務局長、有老多数運営)
報告者2：辻 孝広氏(大樹(株) 代表取締役 サ高住 大樹ふれあい)
報告者3：高橋 秀明氏(株泰進建設 介護福祉事業室室長、
サ高住 マイラシーク南郷 施設長)

- ・第2回 7月26日(金) 18:30～ 和鶏・和香々 饗～KYOU～
参加者数：13名

会員交流会：口火のお話「高齢者向け住宅での人材確保・最新動向」

講師(口火のお話)：川尻 明氏(株ネクサスケア 事業部部長 本会理事)

- ・第3回 9月25日(水) NPO法人シーズネット研修室 参加者数：8名
「介護業界・高齢者向け住宅での『働き方改革』の進め方」
講師：木村 佐和子氏(社会保険労務士、キャリアコンサルタント、
産業カウンセラー、社会保険労務士法人ブレイン・サプライ札幌事務所 所長)
- ・第4回 11月8日(金)、9日(土) 参加者数：8名
「見学会 in オホーツク」
～1泊でのオホーツク地域の主に会員運営のサ高住、小規模多機能4カ所の見学会～」
- ・第5回 1月24日(金) NPO法人シーズネット研修室 参加者数：19名
「高齢者向け住宅での『看取り連携』を考える！」
講師：室田 ちひろ氏
(社会福祉法人 札幌東勤労者医療福祉協会
勤医協札幌ひがし訪問看護ステーション
しのろサブステーション 管理者 緩和ケア認定看護師)
- ・第6回 3月27日(金) NPO法人シーズネット研修室
*折からのコロナ禍のため中止・新年度第1回に延期
「高齢者向け住宅のクレーム対応～地方と札幌での対応体制と事例～」
講師1：下川 孝志氏((有)静内ケアセンター 代表取締役、高住協理事)
講師2：田村 友明氏(SOMP Oケア(株)東日本本部 地域事業部 地域連携課長)
コメンテーター：石塚 慶如氏(ゆいと法律事務所 代表弁護士)

(2) 事業者・市民セミナーの開催

・高齢者向け住宅について事業者への情報提供と市民への周知のため、事業者・市民セミナーを開催しました。

- 6月29日(土) 佐藤水産文化ホール 参加者数：約30名
事業者・市民セミナー(第5回総会(通算8回)記念)
「介護保険の今後と高齢者向け住宅に期待されること」
講師：瀬戸 雅嗣氏(社会福祉法人栄和会 常務理事・総合施設長)

2) 高齢者向け住宅相談員養成研修

・本年度も、秋の実施、選択講義も可能とし、受講者を募集しました。
しかしながら受講申し込み者数は、全日程3名、選択講義1名で最小開催人数の10名に遠くおよばず、本研修において初めて開催を断念せざるを得ませんでした。

3) 高齢者向け住宅事業者・管理者研修

・本年度で4回目となる、事業者・管理者研修ですが、全日程受講申し込み者数は、全日程4名、選択講義2名と最小開催人数10名届かず、昨年に続き本年も開催を断念せざるを得ませんでした。

4) 高齢者向け住宅等待防止研修

・本年度で5回目となる虐待防止研修は、昨年に続き12月に開催しました。参加者は、札幌市内だけではなく、室蘭市、奈井江町、比布町、音更町からの受講がありました。

R1年度(通算第5回)研修 12月 5日(木)

かでの2・7 730研修室

受講者数: 50名

5) 高齢者向け住宅におけるハラスメント対策研修

・本年度新たな研修として開催予定で、企画広報委員会においてカリキュラムおよび講師の検討を継続していましたが、厚生労働省から「介護現場におけるハラスメント対策マニュアル」や「研修のための手引き」が発表されたため、高住協の研修としては、実施しませんでした。

6) 会員の相談対応

・会員から「平成29年民法改正(令和2年4月施行)により住宅の賃貸借契約における保証人の極度額どの程度とすべきか」との問い合わせがあり、事務局で関係資料を調べ、お伝えしました。それ以外には、特段の相談はありませんでした。

7) 第三者委員としての苦情対応

・事業者、入居者からの苦情相談は特にありませんでした。

8) 会員相互の交流

・事業者勉強会(第2回)において意見交換会を兼ね「交流会」を開催し、13名の参加がありました。

・事業者勉強会(第4回)において1泊で「見学会 in オホーツク」を開催し、遠軽町、北見市、網走市、津別町の会員住宅(1件のみ会以外住宅)を見学させていただくと共に、夜の懇親会には、6名の参加があり、意見交換をしました。

9) 行政との連携

北海道、札幌市等の自治体には個別のイベントへの後援等をいただいたほかは、特段の接触する「場」はありませんでした。

10) 本会の周知活動

(1) ホームページでの情報発信

ホームページにおいて、昨年同様本会主催のイベント等の案内をはじめ、高齢者住まい関係の行政発表、マスコミ報道等を掲載しています。現在のパービューは40～60アクセス(1日)で昨年度と変わりありません。

ただし、会員向けサイトの利用は当初よりほとんどない状況が続いています。

11) その他

(1) 「第1回地域フォーラム(主催:日本在宅医療連合会)」の運営協力と主催講座の開催

9月14日(土)、15日(日)の両日、教育文化会館において開催された標記フォーラムは、本会会員法人が事務局でもあり、本会としても運営・周知に協力するとともに、14日には本会主催シンポジウムとして「とことんダベろう!高齢者向け住宅での在宅医療~住まいと医療のマリアージュを求めて~」を教育文化会館小ホールで実施し、100名以上の参加がありました。

3 組織運営

(1) 理事会の開催

次の通り、理事会を開催しました。

また、全ての理事会の議事録をホームページで公表しました。

6月10日(木) 第1回(通算27回)理事会 7名出席

議題:第5回総会議案書について(H30年度事業報告および決算の確認、H31年度事業計画および予算)他

(2) 委員会の運営

1) 企画広報委員会

8月 6日 (火) 第18回委員会 3名出席

議題：①本年度、第3回、第4回の事業者勉強会内容の協議

②「高齢者向け住宅等におけるハラスメント対策研修」のカリキュラム及び講師の検討

2月12日 (水) 第19回委員会 4名出席

議題：①本年度、第5回、第6回の事業者勉強会内容の協議

②「高齢者向け住宅等におけるハラスメント対策研修」のカリキュラム及び講師の検討

2) 新規活動準備委員会

*委員会開催なし

(3) 事務局体制

ボランティアによる事務局運営を継続しています。

(第2号議案)

2019年度 (一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会 決算書 2019年4月1日~2020年3月31日

収入

(単位:円)

項目	予算	決算	増減	備考
正会員会費	1,200,000	1,380,000	180,000	82事業者・個人
賛助会員会費	300,000	285,000	△15,000	29社・個人、端数は途中入会のため
研修等収入	600,000	347,300	△252,700	事業者勉強会、虐待防止研修等。なお、相談員養成研修、事業者・管理者研修は中止
その他の収入	199,990	48,150	△151,840	相談員養成研修テキスト販売、配布物の同送など
寄付金収入	0	100,000	100,000	寄付金1件(株アルワン)
雑収入	10	10	0	受取利息、他はその他の収入に合算
計	2,300,000	2,160,460	△139,540	

支出

(単位:円)

項目	予算	決算	増減	備考
委託・外注費	80,000	64,800	△15,200	HP年間保守料
通信運搬費	500,000	524,133	24,133	郵送費、電話料金等
旅費交通費	210,000	183,940	△26,060	事務局業務委託者通勤費、理事会・各委員会委員交通費、各研修等講師交通費等
印刷製本費	430,000	442,580	12,580	高住協封筒作成費、プリンター利用料、軽印刷費等
広告宣伝費	20,000	0	△20,000	
交際費・会議費	10,000	11,750	1,750	理事会、委員会、研修講師等の飲料等
消耗品費	50,000	40,720	△9,280	コピー用紙、ラベルシート等文房具類
消耗什器備品費	10,000	0	△10,000	
新聞図書費	50,000	61,980	11,980	高齢者住宅新聞、シルバー新報、介護新聞等
租税 公課	100,000	107,248	7,248	諸謝金源泉所得税、法人住民税
諸会費	10,000	0	△10,000	北海道ヘルスケア産業振興協議会退会
諸謝金	380,000	147,042	△232,958	市民セミナー・各研修・勉強会等講師等
賃金(委託費)	0	0	0	事務局業務、会計業務はボランティアによる
支払手数料	2,000	0	△2,000	振込手数料等
家賃	372,000	372,000	0	家賃(光熱費を含む)
賃借料	70,000	37,200	△36,800	市民セミナー・各研修・勉強会等会場費
雑費	6,000	0	△6,000	
予備費	0	0	0	
計	2,300,000	1,993,393	△306,607	

収入 2,160,460 - 支出 1,993,393 = 167,067

繰越金等

(単位:円)

項目	予算	決算	前年度決算からの増減	備考
当期収支差額	--	167,067	167,067	
前期繰越額	453,978	453,978	0	
計(次期繰越予定)	453,978	621,045	167,067	

*決算は、収入は二つの研修が中止となり大幅減収収入となりました。支出も二つの研修が中止となり諸謝金、賃貸料が予算を大幅に下回り、単年度としては黒字となりました。

2019年度 一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会 監査報告書

一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会

会長 奥田 龍人 殿

監事 杉岡 直人

監事 棟 達也

監事 山本 明恵

私たちは、2019年（2019年4月1日から2020年3月31日）の一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会の業務および財産の状況と事業報告書および決算書について監査を実施いたしました。

私たちは理事の業務および財産の状況に関する監査にあたり、帳簿や証拠書類の照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果。本会の業務は適切に執行され、会計処理については一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されていると認められました。

よって、私たちは、上記の事業報告書および計算書類が一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会の2019年度、2020年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行状況および同日現在の財産の状況を適切に表示しているものと認めます。

以上

2020年度 一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会 事業計画(案)

1 基本方針

2020年度は、昨年同様、本会の目的である高齢者向け住宅の周知活動と質の向上を目指し、これまで実施してきた研修会等を継続するほか、社会資源として高齢者向け住まいが地域に貢献し、地域に認知される仕組みづくりを検討します。また、新たな取り組みが協会の財務体質強化の一助となることも目指します。

2 事業活動

1) 事業者勉強会、事業者・市民セミナーの定期的開催

継・高齢者向け住宅の質の向上を図るため、事業者勉強会を2ヵ月毎、奇数月に開催します。内容は本会の企画広報委員会で企画します。

新・事業者勉強会については、地方会員の参加を容易とするため、本年度よりテレビ会議方式、あるいは併用しての開催とします。

また、各研修についてもテレビ会議方式の導入を検討します。

継・従来は総会開催時の6月と2月に事業者・市民セミナーを開催してきましたが、本年はコロナ禍があったため2月のみの開催とします。

2) 「サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修」の開催

継・昨年度同様、10月～11月に実施を予定します。カリキュラム単位毎の受講も引き続き可能とします。

3) 「サービス付き高齢者向け住宅等事業者・管理者研修」の開催

継・昨年度同様、9月実施を予定します。カリキュラム単位毎の受講も引き続き可能とします。

4) 「サービス付き高齢者向け住宅等虐待防止研修」の開催

継・昨年度同様、12月実施を予定します。

5) 会員の相談対応の検討と実施

継・会員から持ち込まれた事業運営の課題、入居者の処遇などの相談に対応する。引き続き新規事業準備委員会において、仕組みを検討します。

6) 第三者委員としての苦情対応の実施

継・事業者の苦情受付の第三者委員として、苦情対応を受け付ける。引き続き新規事業準備委員会において、仕組みを検討します。

7) 会員相互の交流

- 継・昨年同様7月の事業者勉強会において意見交換を兼ね「交流会」を開催します。
- 継・住宅運営者である正会員にとっても複数の高齢者向け住宅を訪問する機会が少なく、訪問により自己の住宅運営の参考となることから3年前より、事業者勉強会としての見学会を11月に実施しています。本年度も事業者勉強会として札幌以外に1泊で出かけ11月に実施を予定します。

8) 会員への情報提供

- 新・会員のメーリング・リストを整備・活用し、ホームページ掲載情報や、各種行政情報集約などを会員に定期的にお届けいたします。

9) 行政との連携

- 継・高齢者向け住宅の質向上に向け本会が実施している各種研修について北海道、札幌市等の自治体に、何らかのバックアップをいただけるよう協力を依頼します。
- 新・2018年の「北海道胆振東部地震」、2020年の「コロナ禍」と大規模災害・感染症が続き、高齢者向け住宅においても大きな影響を受けました。このような状況での支援体制について行政と連携した対応について北海道、札幌市と情報交換を進めます。

10) 本会の周知活動

- 継・会のホームページの活性化を図ります。
- 新・7月より「シルバー新報」に本会理事の執筆による「連載記事」を開始することとなり、本会の周知に役立つものと思われまます。また、会員各位にも執筆協力をお願いする予定です。

11) その他

- ・その他、本会の目的に沿った事業を行います。

3 組織体制

組織図は従来のおりで運営します。

1) 理事会および委員会

- ・役員任期は定款第24条（任期）により2年（ただし、再任を妨げない）定めており、現役員は昨年度選出（現任）のため、本年度も任期中となります。

ただし、以下の通り現職退職による理事退任の申し出があり、理事9名体制から8名体制となります。

理事(退任) 梅澤 秀幸（株式会社ファイブスター札幌）

- ・委員会の体制については、次回理事会において協議・決定します。

2) 事務局

- ・昨年同様、財務状況の好転が見込め、専従職員雇用までは、ボランティアによる運営を続けます。

(第5号議案)

2020年度 一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会 予算(案)2020年4月1日~2021年3月31日
収入 (単位:円)

項目	予算	前年度予算	前年度決算	前年度決算からの増減	備考
正会員会費	1,200,000	1,200,000	1,380,000	△180,000	85 事業者・個人
賛助会員会費	300,000	300,000	285,000	15,000	30 社・個人
研修等収入	600,000	600,000	347,300	252,700	事業者勉強会、相談員養成等研修受講料等
その他収入	199,990	199,990	48,150	151,840	事業者・市民セミナー、テキスト販売、同送サービス等
寄付金収入	0	0	100,000	△100,000	
雑収入	10	10	10	0	受取利息
計	2,300,000	2,300,000	2,160,460	139,540	

支出

(単位:円)

項目	予算	前年度予算	前年度決算	前年度決算からの増減	備考
委託・外注費	65,000	80,000	64,800	200	HP 年間保守料等
通信運搬費	500,000	500,000	524,133	△24,133	郵送費、電話料金
旅費交通費	210,000	210,000	183,940	26,060	事務局業務委託者通勤費、各種交通費、駐車場料金等
印刷製本費	430,000	430,000	442,580	△12,580	高住協封筒作成費 プリンター利用料 軽印刷費等
広告宣伝費	20,000	20,000	0	20,000	チラシ同送料等
交際費・会議費	10,000	10,000	11,750	△1,750	理事会、委員会等の飲料等
消耗品費	50,000	50,000	40,720	9,280	コピー用紙、ラベルシート等文房具
消耗什器備品費	10,000	10,000	0	10,000	
新聞図書費	62,000	50,000	61,980	20	高齢者住宅新聞、シルバー新報、介護新聞等
租税 公課	100,000	100,000	107,248	△7,248	諸謝金源泉所得税、法人住民税
諸会費	0	10,000	0	0	
諸謝金	350,000	380,000	147,042	202,958	市民セミナー・各研修・勉強会講師等
賃金(委託費)	0	0	0	0	事務局・会計業務はボランティア
支払手数料	2,000	2,000	0	2,000	
家賃	372,000	372,000	372,000	0	家賃
賃借料	70,000	70,000	37,200	32,800	市民セミナー、各研修、事業者勉強会等会場費
雑費	6,000	6,000	0	6,000	
予備費	43,000	0	0	43,000	
計	2,300,000	2,300,000	1,993,393	306,607	

繰越金等

(単位:円)

項目	予算	前年度予算	前年度決算	前年度決算からの増減	備考
計(次期繰越予定)			621,045		